

ゆく年 くる年

私たちの国籍は天にあります。（聖書・ピリピ書 3:20）

その後、お変わりございませんか？

- 何人かの方々からは、親しい方がなくなられたとの、お葉書をいただいています。慎んで、哀悼の意を表したいと思います。
- 私たち夫婦が集っています阿武山福音自由教会は、昨年、20周年の記念の年でした。いくつかの記念の取りくみがなされましたが、「教会墓地」が完成したんですよ。墓碑に刻まれた聖書のことばが、最初に記しました、新約聖書・ピリピ人への手紙のことばで、妻が毛筆で書いたものを用いていただきましたよ。
- 多くの方々から、クリスマスカードや年賀状をいただき、ありがとうございます。一枚一枚うれしく拝見させていただきながら、それぞれご活躍の様子や近況を知ることが出来、感謝いたします。

- 今年の初日の出は、最高でしたよ！

毎年、初日の出は、高槻城跡公園にある高山右近像の所で迎えています。

朝6時半に起きて、新聞を取りに外に出てみますと、まだうす暗く、一点の雲もない西の空に、17日目の月が、こうこうと輝いていました。すてきな初日の出に出会えそうです。

自転車で、高山右近像のある所に出かけていきました。7時10分頃に着きましたが（例年のことですので、時間を計算して）、今年は何と、多くの人たち（20人位）が集っていましたよ。

空全体、美しく晴れ渡っています。

7時14分、2013年の初日が姿をあらわしました。最初的一条の輝きが、少しずつ光を増していきます。、やがて、初日全体の輝きになりました。空の雲も、美しく輝き、刻々と姿を変えていきます。

見事な初日の出です。こんな声が聞こえてきましたよ。

「ずい分、初日の出を見てきたけれど、今年の初日の出は最高だね！」

私も、同感でした。日の出と共に、集まっていた人たちは、すぐに立ち去って行ってしまわれましたが、ここからは私の時間です。

初日と右近像と私と。初日と右近像を、ひとり占めに出来る豪華な時間です。まず、このような時をもたせてくださった、天地創造の神に「主の祈り」をささげました。

初日と右近像の写真を、いっぱい撮りました。初日を受けて建つ高山右近像。美しく姿を変えていく雲。西の空には有明の月。天地が一つになって、主なる創造の神を賛美しているようでした。

つづいて、近くにあるカトリック高槻教会へ。

まだ飾られていた、クリスマスの日の聖家族の人形。誰もいない元朝の聖堂に、リコーダーの音が響いていきます。

「ジュスト高山右近を賛う」「祈りの生涯」「いつくしみ深き」「月の砂漠」を賛美・演奏させていただきました。

外に出ますと、祈る高山右近像の所に、初日が美しく輝いていましたよ。

- 家に帰って、おいしくお雑煮をいただいて、11時からもたれる、阿武山福音自由教会での「元旦礼拝」に、夫

婦で出かけて行きました。

新約聖書・「ルカの福音書」12章 35～48節から、「目を覚ましていなさい」と題して、鈴木健之牧師がメッセージを語っていただきました。

心の目を覚まして、しっかりと今の時代や自分のことを見つめ、歩んでいきたいと思いました。

- 子ども達・孫たちも、それぞれ元気にすごさせていただいて、感謝です。

お正月とはいえ、全員がそろうということは、むずかしくなってきましたが、12/28～31まで、東京・武蔵野市から、長女のの中村信洋・光世夫妻、信也(小学1年生)が帰ってきました。

つづいて、1/1～4まで、次男の寛容(ひろし)・尚英(よしえ)夫妻、志歩(しほ・5歳)が、東京北区から帰ってきました。

長男の聖潔(きよし)・由佳子夫妻、心優(みゆう・小学3年生)・一步(いっぽ・5歳)は、近くに住んでいます。

3日(木)には、恒例になっています、わが家に集まって、妻の心づくしの「おせち料理」と、買い求めてきたお寿司で、楽しい会食の時をもちました。

次女の御国(みくに)は、小学校に勤めていますが、妻といっしょに、おせちを作ってくれましたよ。

中村一家は参加できませんでしたが、10人で、にぎやかに、おいしく、楽しい時でした。

- 昨年も「高山右近研究」を通して、多くの恵みをいただきました。

※ ホームページ「高山右近研究室・久保田へようこそ」が、ますます充実してきました。

これらを通して、多くの方々が、特に若い人たちが、高山右近さんや、右近さんが愛されたイエス・キリストと出会ってくだされば、と思っています。

昨年一番大きかったことは、小説「まだ見ぬ故郷」(長部日出雄・著)の挿絵(442枚)を描いてくださった水戸成幸画伯のおゆるしをいただいて、全作品を掲載させていただけたことでした。

11/9(金)には、東京のお住まいに、夫婦でお伺いさせていただき、親しい交わりの時をもたせていただきました。

その時、思い切って、

「高山右近研究室・久保田のために、右近さんの絵を一枚、描いていただけませんか？」

とお願いしてみましたら、「いいですよ。」と仰ってくださったのです。

そして、11/30(金)に、「祈る高山右近」のすばらしい絵を送ってきていただいたのです。

激動の戦国の世にあって、デウスに、キリストに祈りつづける高山右近の姿を、見事に描いてくださっています。

ホームページにも、のせていますので、是非ご覧になってください。

又、水戸さんをお願いして、著作権フリーにさせていただいていますので、自由に、有効にお用いになってください。

※「祈る高山右近」(水戸成幸・画)とだけは、明記してくださいネ。

※ うこんしすまですんこう(右近死すまで増す信仰)―伊藤俊子さん作の回文―

- NHK 大河ドラマ「八重の桜」が、スタートしましたネ。新島八重さんが主人公のドラマ。夫婦で、どっぷり、はまりたいと思います。

本年も、よろしくお願ひします。
神の祝福が、豊かにありますように。

God bless you! God bless us!

A.D.(Anno Domini 主の年)2013 年

久保田典彦 & 忠子

